

# シリーズ30 「男女共同参画社会実現に向けて」

## 『トップセミナー』の参加報告について

### 都留市男女共同参画推進委員会

平成十二年九月六日、地域や職場で指導的な立場にある方々に、男女共同参画社会の実現を図ることを目的に県主催により「トップセミナー」が開催されました。当日は県内の市町村長、市町村議会議長、企業経営者など約百八十人の方々が参加され、行政のみならず、経済界にとつてもこの「男女共同参画社会」への関心の高さがうかがえました。セミナーは二部構成で行われ、第一部は日本経済新聞社の鹿嶋敬さんが、「女(ひと)と男(ひと)の新時代 家庭・企業・社会」と題して講演し、女性の意識が進んでいる割に我々の家族、職場、社会通念における意識が追いついていないと分析し、そのギャップをどのように埋めていくかが、男女共同参画型への転換であると語りました。第二部は、「男女共同参画社会の実現への取り組み」をテーマとしたシンポジウムが行されました。シンポジストとして、行政、企業の分野から小林義光都留市長と有限会社シラネパック代表取締役である東條初恵さん、また、助言者として、前述の鹿嶋敬さん、さらにコーディネーターとして前県総合女性センター所長の古屋繁子さんを迎えて、シンポジウムが始まりました。小林都留市長は、少子高齢化、IT革命などにより、社会システムそのものが大きく変化している中で、男性、女性、高齢の方、障害のある方などが、それぞれの個性・能力を發揮していただけなければ、それからの社会そのものが成り立たないと述べ、都留市が全国に先駆けて施行した「都留市男女共同参画基本条例」についての背景・目的・ポイントを説明しました。東條さんは、企業人として、また一家の主婦として、男女共同参画に取り組む自らの体験談を話し、家庭内の夫婦間では、子育てや家事の役割分担を見直す男性の理解がなければ男女共同参画は進まないと語り、行政や企業のトップの方々に対し、さらに多くの女性が発言する場を与えて欲しいと要望しました。最後に、古屋さんは、人々の意識変革が重要であり、古い染み付いた衣を順に一枚一枚はいで、新しい衣に替え、自信を持って行動していく時に、男女共同参画社会が一步一歩進んでいくのではと語りました。また、シンポジウム後の質疑応答では、小林都留市長に対し、全国各地へ、先駆けて条例を制定した市の見本をこよなく発信して欲しいとの要望がありました。

このように、当市は、全国初の条例制定都市であることにより、全国各地から多くの注目を受けています。市民の皆さまも男女共同参画社会への歩みをされることから、一步一步進めていただきますようお願いします。  
◎当委員会では、今年度中に市内の事業所などに対する「女性の雇用状況調査(仮称)」を実施する予定です。現在、委員会の中に分科会を設け、その内容を検討していますので、調査対象となりました事業所などにおかれましては、ご協力をお願いします。



## ネイチャーセンター ガイド (32)

### ●1階展示フロアでは・・・ 秋の展示に衣替えしています。

#### ◆◆◆おしらせ◆◆◆

13年度センターイベントへの提案・要望をおまちしています。こんなイベントがあればおもしろい。このイベントはどうもいまいち。

また、来年は「都留市でしか味わえない」をテーマにいくつか新しいイベントを開催予定です。



### ●【自分でこの図鑑をつくっちゃおう!】

きのこの名前がわからない。食べられるか、食べられないか知りたいという方におすすめです。専門家が講師として招かれている観察会などに積極的に参加し、情報を収集してください。

#### 〈鑑定にこんな情報があるといいですね〉

- 1、きのこの名 2、採れた場所
- 3、写真 4、採れた場所の森の植生

96年～99年までのふれあいの里版きのこ図鑑を提供します。

※不明なきのこについては、口に入れない、そして、専門家へ鑑定の依頼をしましょう。

### ●炭焼き体験してみませんか!

ふれあいの里にある炭焼き窯で自分で炭を焼いてみよう。あまりむずかしく考えない、ひとまず電話を・・・。

期日はまだ未定ですが、間伐材が見つかりしだい、随時行います。



### ●フィールドでは・・・

#### 【二ホンリスとの出会いをたのしもう!】

センターの上にみえるコテージの管理棟。この大きな建物の中から野生のリスの姿を見る事ができます。リスがやってくる時間は、刻々と変化しますが、毎日見ている管理棟のおじさん、おばさんに電話して聞いてみよう。

#### 連絡・問合先

都留いきものふれあいの里ネイチャーセンター

開館時間：午前9時から午後4時まで

休館日：月曜日、祝祭日の翌日 ☎(45)6222